

『みらいへとどけ！』

食育だより

大阪教育大学附属幼稚園

食育研究会

令和7年3月

柔らかな春の日差しに春の訪れを感じる季節となりました。食育研究会の皆様におかれましては、平素よりご理解、ご協力、ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

今年度、食育研究会では、給食が提供されるまでの経緯や、手作り給食が附属幼稚園の子どもたちにとってどのような意味を持っているのかなどについて話し合うなど、改めて理解を深めました。保護者による手作り給食という附属幼稚園ならではの素晴らしい伝統に誇りを持ち、引き続き子どもたちにあたたかい思い出を提供する機会をこれからもつないでいきたいと考えています。

☆☆☆ 食育イベント「焼き芋大会」 ☆☆☆



年少さんが、遠くから運んで来てくれたよ！



新聞紙とアルミホイルに包んで、ポイっ！



見えないところでいつもありがとうございます！

11月26日(火)、食育研究会、お父さんクラブ、そして年長児保護者の皆様のお力添えのもと、無事に焼き芋大会を開催することができました。

朝から澄んだ空気の中、子どもたちはわくわくした表情で集まりました。年中・年長さんは、自分たちでお芋を丁寧に洗い、一つひとつ新聞紙とアルミホイルで包みました。そして、保護者の方と一緒に焚火へ入れると、炎のゆらめきとともに、お芋がじゅくりと焼き上がっていきました。一方、年少さんは園庭に舞い落ちた葉っぱを一生懸命拾い集め、焚火の準備をお手伝い。どの学年の子どもたちも、それぞれの役割を楽しみながら行事に参加しました。

焼き上がるまでの時間も、子どもたちは「まだかな?」「どんな味かな?」と期待を膨らませながら待ちました。そして、いよいよ焼きたてのほかほかのお芋を手にとると、

その湯気と甘い香りに思わず笑顔がこぼれます。ひと口頬張ると、「あまい!」「あついでおいしい!」と嬉しそうな声があちこちから聞こえてきました。その満ち足りた表情から、美味しさがしっかりと伝わってきました。

このような素晴らしい行事を無事に開催できたのも、食育研究会の皆様をはじめ、お父さんクラブや年長児保護者の皆様の多大なるご協力のおかげです。焚火の準備や火の管理、そして子どもたちを見守ってくださったすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

この経験を通じて、子どもたちは食の大切さや自然の恵みへの感謝の気持ちを学ぶことができたのではないのでしょうか。今後も、こうした食育活動を大切にしながら、子どもたちと一緒に豊かな時間を育んでいきたいと思えます。本当にありがとうございました。

☆☆☆ 今年度の給食の取り組み ☆☆☆

「きょうのメニューなに?」「おかわりいっぱいしたよ!」「おいしかった!」

今年度も、割烹着姿の保護者へ笑顔で話しかける子どもたちの姿がたくさん見られました。慣れない給食調理に時に苦戦しながらも、クラスや学年の垣根を越えて声を掛け合ったり、給食室の窓から中の様子を興味津々にのぞき込む子どもたちの表情に時折癒されながら楽しく当番活動を行うことができたと思います。新メニューも登場し、子どもたち同士や親子で気づきや発見を共有する様子には、給食は体への栄養面のみならず、様々な成長のきっかけになっているのを感じました。

先生方にご指導いただきながら、一人ひとりがルールやマナーを主体的に意識し、徹底することで安心安全な給食を提供することができました。今年度も一年間本当にありがとうございました。

☆☆☆ 「手作り給食」は、みんなのおかげ。今日も子どもたちに届いています ☆☆☆

【栄養士・調理師の先生】



☆調理の指導

☆安心安全を管理

【子どもたち】



【保護者のみなさま】

「手作り給食、みんなでいっぱい食べてね!」



【大阪教育大学】



☆お給料

☆寄附金

【食育研究会】



☆食育イベント

☆寄附金

皆様からいただきました食育研究会会費は、栄養士、調理師の先生の人件費、幼稚園と協力しての食育活動(焼き芋大会など)に大事に使わせて頂いております。幼稚園のホームページでも過去の活動内容をご覧いただけますので、一度ご覧になってみてください!

今年度も無事活動を終えることができました。皆様には、ご理解、ご協力いただきましたこと、お礼と感謝申し上げます。ありがとうございました。

